

会 議 議 事 録

1. 日時等

日時	令和4年11月25日（金） 13:30～15:00
場所	日之影町民ホール
会議名	令和4年度第2回日之影町地域公共交通会議

2. 報告事項

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

- (1) 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）交付申請の結果について
- (2) 日之影町地域公共交通計画策定業務委託公募型プロポーザルの結果について

※質疑・意見等なし

3. 議事

○事務局より以下の事項について説明を行い、その内容について質疑を行った。

- (1) 地域・公共交通の現状・問題点
- (2) アンケート調査結果等
- (3) 日之影町が目指す将来像と公共交通に求められる役割
- (4) 解決すべき課題（案）
- (5) 基本方針（案）

甲斐（秀）委員 移動特性の「買い物」について、八戸地区では地区内の買い物もあるのではないかと感じるが、アンケート調査ではそのような回答はなかったのか。

建設技術研究所 資料では、それぞれの大字で回答割合が5%以上のもののみを矢印で表記している。詳細なデータが手元にないが、八戸地区への買い物外出も割合としてはそれほど高くないものの回答はあったように記憶している。

なお、外出特性については集落単位での集計も行っているが、高千穂町に近い集落では高千穂町、延岡市に近い集落では延岡市への外出割合が高い傾向が見られる。

甲斐会長 路線バスについて、日之影町での乗降がかなり多い印象を受ける。具体的な利用特性なども分析しているか。

建設技術研究所 現時点ではこれ以上の分析には至っていないが、交通事業者よりICカードの詳細なログデータを提供いただいているため、今後少し深掘りして分析したい。

また、今回は集計が間に合っていないが、路線バスについては全便を対象に車両への乗り込みによる利用実態調査も実施していることから、その調査結果も含めて、今後ご提示する予定である。

- 大井委員** 基本方針について、記載の順番に違和感を持った。採算性を強調しすぎると「やらないほうが良い」という話になりかねない。少しターゲットを絞ってどのように公共交通を支えていくかを考える必要がある。
- 路線バスの詳細データが提示されているが、宮崎交通さんとしてはどのようにしていこうと考えているのか。バイパス経由・旧道経由の「両にらみ」は厳しいのではないかと感じるため、コミュニティバスと接続するようなことも考えながら、筋肉質なものにしていく必要がある。
- 工藤委員** 高齢者の方々はタクシーも利用されているのではないかと思うが、例えば買い物帰りの荷物を持っているときの利用が多い、などといった特性があれば教えていただきたい。
- 山本委員** 農協で飼料を買ったりするケースではタクシーを利用するケースなども見られる。納屋へ運び入れるところまでお手伝いするようなケースもあって運行に時間がかかることもある。
- 事務局** コミュニティバスはジャンボタクシー車両で運行している。利用が少人数であることもあって、買い物後の荷物があっても乗りやすい状況にはなっているのではないかと考えている。
- 山本委員** 「きめ細かなサービス」との記載があるが、公共交通やタクシーでは難しい部分もある。軽トラックや荷台がついた車両などの運行なども考えてはどうか。
- 事務局** 貨物の取り扱い、ということになるかと思う。運用のなかで検討していくことも考えられる。
- 小川委員** 災害の影響で路線バスの旧道経由が運行できていない。八戸集落からコミュニティバスはあるが利便性が低い。路線バス旧道経由の運休中だけでもコミュニティバスを増便して路線バスと連携を図って欲しいとの意見がある。
- 事務局** 旧道経由については、災害の関係でバイパスに迂回運行している。八戸地区については八戸線だけではなく大山線など複数の路線が運行しているため、それらも活用していただきたい。また、短距離の移動については乗用タクシーの利用も考えていただきたい。
- 山本委員** コミュニティバスは夕方 5 時ごろまでしか運行していない。それ以降になると路線バスを利用された方は坂道を歩いて下りることになり、特に病院帰りの高齢者などにとっては大変である。
- 役場でタクシーなりを運行してもらいたい、といった意見もある。
- 事務局** 各地区での被災に対応しており、現時点ではそういったところまでの検討に至っていない状況であるが、コミュニティバスの有効活用に加えて何らかの対策を考えていく必要があると認識している。
- 豊丸委員** 旧道経由は迂回運行となっているが、道路環境が改善されないとバス車両の通行は困難であり、道路が開通され次第、運行を再開したいと考えている。
- 路線バスの利用について、学生の通学や通院などのほかに、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、観光客、特に海外からのお客様が増えてきている。利用促進も含めて様々な検討が必要だと考えている。

※解決すべき課題、および、基本方針について、概ね案の通り了承された。

4. 閉会

以上